

メーデーの歌 (其の二)

一
この世の富も繁栄も
われ等が汗の末になる
われ等が手をおく時は
世界も閉ざりぬべし
汗のあたひの罰さを
いざ進民に示さばや

二
國と國とに喧つれや
巨額奴隷の屈辱に
悲憤は同じ労働者
國の境を今日こゝにて
闘争力を試すべく
堅き握手を交すかな

三
史を按ずればあゝ茲に
血をもて築し三十年
今日のメーデーの祝祭に
金満酒はあらざれや
乾きゆるぐさの聲
未來は我等のものなるぞ

一
あゝメーデーよ、メーデーよ
前線戦の恐怖なき
自治労働の新社會
建設すべき我々の
志氣を天下に示すべき
一年一度の祝祭よ

二
あゝメーデーよ、メーデーよ
飛び去られし人類の
正義と自由を萬民に
恢復すべき團結の
威力を世界に示すべき
一年一度の祝祭よ

三
あゝメーデーよ、メーデーよ
地球をあけて共通の
プロレタリアの祝祭よ
鞭ひ誇り、奴隷の
労働勝利のさきの聲
天地ささるけ天を呼べ

デカンシヨ節

一
花の乙女がその血で染た
三玉も貴い労働祭

二
今日のメーデーを祝はぬ奴は
ダニにヨク似たく潰し

三
八時間労働もやれない國が
聞いて呆れる一等國

四
おいらが居なけりや世界は閉上
閑に邪れ資本主義

五
世界の労働者がお尻を揃へ
臭い資本主義尻で飛はせ

六
働かない奴は喰ふてはならぬ
時かぬ種なら生のやせぬ

五月一日正午

中之島公園を牢記せよ

集合出發地 中之島公園

難波橋下

到着解散地 天王寺公園

ケラウンド

集合正午

出發後一時

大正十五年四月十四日印刷 (定價二錢)

大正十五年四月十六日發行

大阪市東區越中町八百六十番地

編輯發行 辻井安太郎